

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	昭和46年	根拠法令・例規等	備前市愛育委員会規則
総合計画	大項目	基本構想	04 土台となる政策「安全・安心」	担当課(室)	保健課
	中項目	基本計画	06 誰もがいつまでも安心して暮らせるまち	職・氏名	健康係長・江見清人
	小項目	施策	23 生涯を通じた健康づくりの推進	電話	64-1820
事務事業名		08 愛育委員会事業	このシート作成に要した時間		

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	愛育委員	
目的(何のために)	市民の健康づくりをすすめるための「健康づくりボランティア」として育成する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	委員が自らの健康意識を高め、受け持ち地区で健康づくり(健康診査等を活用した健康づくり)を推進することで、市民の健康意識を向上させる。	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	愛育委員会事業	健康づくりを推進する「健康づくりボランティア」として、市長の委嘱を受けた愛育委員を育成し、市民の健康増進を図る。委員が、自ら健康知識を高め、地域へ啓発できるようになるために、年間を通じて委員研修を行なう。	◎

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	3,217	3,141	3,168
	必要人員	人	1.44人	1.66人	1.99人
	事業費計	千円	13,086	14,517	15,883
	国庫支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	財源	千円			
	一般財源		13,086	14,517	15,883
	受益者負担比率	%	-	-	-

結果指標		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標名	説明	地区での委員研修会総出席者数÷開催延回数		
	結果指標量	人	25.6	25.4	25.1
	対前年比	%	-	99.2%	98.8%
	活動コスト	円	13,086,000	14,517,000	15,883,000
	単位当たりコスト	円	511,172	571,535	632,789

事業の成果		(平成25年度事業)				
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
		目標値(A)	27.5	27.5	27.5	27.5
地区委員研修会の出席者数	実績値(B)	25.6	25.4	25.1	到達目標値	
	達成率(B/A)	93.09%	92.36%	91.27%	27.5	

市内9地区で実施する地区委員研修会(視察研修含む)出席者延べ人数/開催回数(H20:952人/39回、H21:1223人/45回、H22:1113人/45回、H23:1153人/45回、H24:1017人/40回、H25:1004人/40回)

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 ABCDE 高や普や低い や通やいい 高 低い B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低い や通やいい 高 低い B
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 ABCDE 高や普や低い や通やいい 高 低い B
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	B

進行年度(H26年度)の改革改善内容		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況			○					
説明	就労している委員が増えており、委員研修会への出席率を高めるために、市総会を5月初旬の日曜日に開催したり、委員の意見により夜間に委員会を開催するようになった地区もある。今年度は委員交代の年であるため、委員の意見を取り入れた、参加しやすい委員会を計画する。							

総合評価		総合評価
委員が地域住民に健康づくりの知識の普及啓発を行うことは有効な事業であるが、委嘱される者の就労の割合が年々増加しており、委員の交代年度には、特に、出席しやすい委員会を企画検討していく必要がある。また、委員が研修会で自分の健康意識を高めることは、家庭や地域での声かけ活動につながっており、今後も学習の場としての研修会が必要と考える。人材育成は効率性で図れるものではないと思うため、やむなく欠席される委員には、委員自身が地域で活動できる人材となれるよう、研修内容を確実に伝達・復命することに重点を置き、有効な事業としている。		総合評価 ABCDE 高や普や低い や通やいい 高 低い B

平成27年度の方針・取組目標		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性			○					
取組目標	出席しやすい委員会を委員と共に企画していくことで、委員の出席率を高めたい。一方で、出欠にかかわらず、委員が自分の健康意識を高め、少しでも地域で声かけ活動にいかせられるよう、引き続き委員研修を実施していく。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな